

「大野城市人権教育・啓発基本指針」に基づく実施計画(第2次)平成30年度進捗状況報告書  
人権政策審議会(第1回)の委員からの意見一覧

※一重下線は削除、二重下線は追加、訂正

	分野	事業名	担当課	審議会委員提出意見	審議会意見案	30年度実績 についての 自己評価	ページ
あらゆる場における人権教育・啓発の推進	就学前教育	① 豊かな心を育てる保育活動の推進	保育所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所は家庭から団体活動へと入っていく最初の段階となるので、豊かな心を育て、命の大切さを自然と感じ取れるような体験活動を継続していくことが望ましい。幼児期でもあるので、年長者(小学生・中学生)との交流や高齢者との交流、四季折々の自然とのかかわりも経験を積んでいければ良い。職員も啓発を行いながら、継続に努めていただきたいと思ひます。</li> <li>・<u>保育所に於いて、小・中学生との交流会や体験活動を行うことは、少子化である昨今、大事なことだと思ひます。</u></li> <li>・感情のコントロールができるように、お互いの言い方や態度に気を配っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所は家庭から団体活動へと入っていく最初の段階となるので、豊かな心を育て、命の大切さを自然と感じ取れるような体験活動を継続していくことが望ましい。</li> <li>・幼児期でもあるので、年長者(小学生・中学生)との交流や高齢者との交流、四季折々の自然とのかかわりも経験を積んでいくのが望ましい。</li> <li>・感情のコントロールができるように、子ども同士がお互いの言い方や態度に気を配っていけるよう保育するべきである。</li> </ul>	B	3
		② 従事する職員への研修の実施	保育所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所職員の意識向上の為の研修会は、必要だと思ひますが、若い職員の子どもに対する思いやりも教育して下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所職員の意識向上の為の研修会は、必要だと思ひますが、若い職員の子どもに対する思いやりも教育するべきである。</li> </ul>	B	4
	学校教育	① 自尊感情を育む教育の推進	教育指導室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分を大切にすると、他人への思いやりの気持ち」から人権が始まるように思ひます。小中学校のときは是非とも育てていきたいです。(3)の家庭教育とも関連しますが、家庭環境も影響するので、保護者とも連携を取りながら継続して欲しいです。</li> <li>・『いのち』を守る研修会は、良いと思ひますが、いじめをする・される事で嫌な思いを子どもたちに伝えることが大事だと思ひます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分を大切にすると、他人への思いやりの気持ち」から人権が始まるように思われる。小中学校のときは是非とも育てていくべきである。(3)の家庭教育とも関連するが、家庭環境も影響するため、保護者とも連携を取りながら継続していくべきである。</li> <li>・「<u>こどもたちの『いのち』を守る研修会</u>」は、良い事業であると思われるが、いじめをする・される事で嫌な思いをする事を、子どもたちに伝えることが大事である。</li> </ul>	B	5
		② 正しい人権感覚を養う教育の推進	教育指導室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校9ヶ年を見通して、『かがやき』や『あおぞら2』(県教委の副読本)などの教材を活用した人権感覚の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校9ヶ年を見通して、『かがやき』や『あおぞら2』(県教委の副読本)などの教材を活用した人権感覚の向上を図るべきである。</li> </ul>	B	6
	家庭教育	① 保護者の学習機会の提供と支援	教育指導室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒は、学校において人権課題にかかわる様々な学習を積み上げる機会がある。保護者に対してもLGBTを含む人権課題(法務省では強調事項は17項目)について学習する機会を設けて啓発してほしい。</li> <li>・家庭教育学級の参加・活動に、学校差が出てきたという事なので、活発な学級の活動発表会を合同講演会の時に入れてみるというのは？</li> <li>・<u>大野城市中学校の制服を統一していく方向に進めていって欲しい。</u>(発注数が増えれば、単価もおさえられるし、近年問題になっているLGBT問題の対処にもなっていくと思われる)</li> <li>・家庭教育の合同講演会に1回、小・中学校での学習会に1回ずつ、人権侵害の現実とそれに向けての小・中学校や市の取り組みを紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒は、学校において人権課題にかかわる様々な学習を積み上げる機会がある。保護者に対してもLGBTを含む人権課題(法務省では強調事項は17項目)について学習する機会を設けて啓発していくべきである。</li> <li>・家庭教育学級の参加・活動に、学校差が出てきたという事であるので、<u>家庭教育学級が活発な事例の発表を合同講演会の時に入れてみるというのはどうか。</u></li> <li>・<u>市内中学校の制服を統一していく方向に進めるべきである。</u>(発注数が増えれば、単価もおさえられるし、近年問題になっているLGBTに関する問題への対処にもなっていくと思われる)</li> <li>・家庭教育合同講演会に1回、小・中学校での学習会に1回ずつ、人権侵害の現実とそれに向けての小・中学校や市の取り組みを紹介するべきである。</li> </ul>	C	7~8
			教育振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒は、学校において人権課題にかかわる様々な学習を積み上げる機会がある。保護者に対してもLGBTを含む人権課題(法務省では強調事項は17項目)について学習する機会を設けて啓発して欲しい。</li> <li>・家庭教育学級の参加・活動に、学校差が出てきたという事であるので、活発な学級の活動発表会を合同講演会の時に入れてみるというのはどうか。</li> <li>・市内中学校の制服を統一していく方向に進めるべきである。(発注数が増えれば、単価もおさえられるし、近年問題になっているLGBTに関する問題への対処にもなっていくと思われる)</li> <li>・家庭教育合同講演会に1回、小・中学校での学習会に1回ずつ、人権侵害の現実とそれに向けての小・中学校や市の取り組みを紹介するべきである。</li> </ul>	C		

	分野	事業名	担当課	審議会委員提出意見	審議会意見案	30年度実績 についての 自己評価	ページ
あらゆる場における人権教育・啓発の推進	地域	① コミュニティ研修会の推進	人権男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での同和教育を補完するためにも、中高生の参加を学校を通じて行ってはどうか。</li> <li>・<u>コミュニティ別人権・同和問題研修会の開催は良いが、同和の問題提起は、却って差別を誘発するのではと考えますが。</u></li> <li>・内容が盛り沢山すぎるとの指摘に対して、今後項目を各コミュニティで分散させて、2つずつ位に絞って行うという方法を考えてみてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での同和教育を補完するためにも、中高生の参加依頼などを学校を通じて行ってはどうか。</li> <li>・参加者からの「内容が盛り沢山すぎる」との指摘に対して、今後項目を各コミュニティで分散させて、2つずつ位に絞って行うという方法を考えてみてはどうか。</li> </ul>	B	10
		② 講演会等の参加促進に向けた取組みの推進	人権男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者を増やすために</li> <li>①関係団体(保護司、民生委員、人権擁護委員、区役員等)に人数を割り当て、参加依頼をする。</li> <li>②中高生にチラシを配布し、関心のある講座への参加を促す。</li> <li>・「人権をまなぶ講座」について、インパクトのあるタイトルの設定と、参加集約の方法を再検討する。(例えば全戸へのチラシ配布)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者を増やすために次の取り組みを行ってはどうか。</li> <li>①関係団体(保護司、民生委員、人権擁護委員、区役員等)に人数を割り当て、参加依頼をする。</li> <li>②中高生にチラシを配布し、関心のある講座への参加を促す。</li> <li>・「人権をまなぶ講座」について、インパクトのあるタイトルの設定と、参加集約の方法を再検討してはどうか。(例えば全戸へのチラシ配布)</li> </ul>	C	11~12
	企業	② パンフレット等資料の配布による啓発の推進	人権男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所に中学、高校および公共の男子トイレを追加。</li> <li>・DVに限らず、様々なハラスメントに関する啓発も含めてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV相談ホットラインカードの設置場所に中学、高校および公共の男子トイレを追加してはどうか。</li> <li>・DVに限らず、様々なハラスメントに関する啓発も含めて行ってはどうか。</li> </ul>	A	14~15
人権教育・啓発の総合的かつ効果的な推進	教育・啓発活動の推進	① 人権教育・啓発推進体制の充実	人権男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>指導助言を他課に行い、その結果、中間の点検や評価を行う。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「指導や助言を他課に」に続けて、「行い、その結果、中間の点検や評価を行う。」としてはどうか。</li> </ul>	B	17
		③ 意識調査の実施	人権男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問事項は、平成26年度に実施された項目と同じとのことでしたが、追加として「LGBT」についての質問も是非入れてほしいと思います。これからの地域社会において、いろんな人々との共生が求められます。そのためにも多くの市民の「LGBTの人」に対する理解を深める必要があるため、人権意識の高まりもあり、時流に沿った質問であってほしいと思います。</li> <li>・前回28年度の内容・結果が確認出来ない(31年度の内容も不明)、その結果を元にした調査項目を審議会が審議すべきではないでしょうか。この5年間の社会情勢は特に変化が顕著だと思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の意識調査の質問事項については、追加として「LGBT」についての質問も是非入れるべきである。これからの地域社会において、いろんな人々との共生が求められる。そのためにも多くの市民の「LGBTの人」に対する理解を深める必要があるため、人権意識の高まりもあり、時流に沿った質問であるべきである。</li> <li>・前回26年度の内容・結果が確認出来ない(31年度の内容も不明)、その結果を元にした調査項目を審議会が審議すべきである。この5年間の社会情勢は特に変化が顕著だと思われる。</li> </ul>	D	19

	分野	事業名	担当課	審議会委員提出意見	審議会意見案	30年度実績 についての 自己評価	ページ
人権教育・啓発の総合的かつ 効果的な推進	人材の育成と 活用の充実	② 人権・同和教育に関する 嘱託職員の配置	教育指導室	<p>・「30年度実績」欄において、嘱託職員に関する課題が整理されているが、その事項は31年度の取組方策に<u>反映されないのか</u>。</p> <p>・担当課課題の「嘱託職員なので次の指導主事への引き継ぎが難しい状況」というのは<u>少し違うと思う</u>。市の職員も数年毎に担当部署が変わるので、それとあまり変わらないのではないか。むしろその中で引き継ぎをスムーズにするように考えていくのが策ではないだろうか。</p>	<p>・「30年度実績」欄において、嘱託職員に関する課題が整理されているが、その事項は31年度の取組方策にも<u>反映されるべきではないか</u>。</p> <p>・担当課課題の「嘱託職員なので次の指導主事への引き継ぎが難しい状況」というのは本報告書に記載すべき内容ではないと思われる。市職員も数年毎に担当部署が変わるので、それとあまり変わらないのではないか。むしろその中で引き継ぎをスムーズにするように考えていくのが策ではないだろうか。</p>	B	21
	情報提供の充 実及び強化	② インターネットの活用	人権男女共同参画課	<p>・「30年度実績についての評価」欄において、市民からのコメントが少なかったことで「C」評価とされているが、例えば、閲覧件数を把握し、その数値で評価することはできないか。また、情報提供の取組に対しては、<u>閲覧件数の数値で評価することも考えられるのではないか</u>。</p> <p>・様々な事業の情報をSNSで掲示したが、市民からの反応が僅かであった、とありますが、市民の皆がインターネットを使用しているか…その普及率に関係あると思いますが…。市のホームページ及びSNSについて、<u>内容のある記事、見やすさに配慮したページ作成等よろしくお願い致します。期待しております</u>。</p> <p>・若年層に向けた情報提供として効果的かは別として、<u>やらなければいけない周知手段だと思います</u>。若年層は忙しいこともあり、興味がないと見ないので簡潔にできるだけ視覚に訴える方法も検討されては如何でしょうか。高齢者はインターネットをやらない人が多いようですが、<u>今後増えていくことも考慮して継続しながら閲覧者を増やす方法をご検討いただければ幸いです</u>。インターネットにはあらゆる情報があふれていますが、興味がないもの、必要がないものは見ないのが難点です。</p> <p>・対象者である若年層への、効果的な周知方策の工夫検討をしてほしい。(若年層が参加する行事時など)</p> <p>・様々な事業の情報をSNSで掲示したが、市民からのコメントなどの反応が僅かということは、<u>そもそもホームページ・SNSを見ていない人がいかに多いかということだと思</u>う。今は何でも「ホームページをみて下さい」で表示されているので、<u>広報とかチラシで、その初歩の初歩の見方(スマホ画面さし絵入りとか)を紹介するとかしてみてもいいのでは? 意外に皆どうしたらいいか知らないんですよ</u>。</p>	<p>・市民への効果的な周知方策の工夫検討をすべきである。</p>	C	24
		③ パネル展等の イベントの実施	人権男女共同参画課	<p>・「30年度実績」欄において、各パネル展の来場者数の報告はできないか。さらに、「30年度の実績についての評価」においては、来場者数及びアンケート調査結果による評価検証はできないか。</p> <p>・「人権作品展」に展示した作品を作成した小中学生の保護者に案内状を送付してはどうか。</p> <p>・パネル展は各々の啓発月間(週間)に合わせて行うのも必要だと思うが、<u>まどかびあ大ホール等のイベント開催時に合わせて展示するというのも、多くの人に見てもらえるのではないかと思う</u>。</p>	<p>・「30年度実績」欄において、各パネル展の来場者数の報告はできないか。さらに、「30年度の実績についての評価」においては、来場者数及びアンケート調査結果による評価検証はできないか。</p> <p>・「人権作品展」等に展示した作品を作成した小中学生の保護者に案内状を送付してはどうか。</p> <p>・パネル展は各々の啓発月間(週間)に合わせて行うの<u>に加え、まどかびあ大ホール等のイベント開催時にも合わせて展示することで、多くの人に見てもらえるのではないか</u>。</p>	B	25～26

	分野	事業名	担当課	審議会委員提出意見	審議会意見案	30年度実績 についての 自己評価	ページ
分野別施策	同和問題	② 同和問題啓発強調月間における啓発活動の推進	人権男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校(5校)の設置連携を検討してほしい。(P32同和問題③との関係があるなか、中学校がなぜ例外なのか)</li> <li>・街頭啓発は配布場所近隣の学校関係者(学校運営協議会・生徒・児童会)からの参加など、学校との連携を検討してほしい。</li> <li>・街頭啓発も良いが、<u>啓発冊子を市では全戸配布したが、読んだことがない、配られているの知らないという意見もあるので、ティッシュ類を封入した配布物を小学生に配って、家に持ち帰ってもらえば、親や家族の目にふれると思う。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中学校(5校)の設置連携を検討すべきである。(同和問題③との関係があるなか、中学校がなぜ例外なのか)</li> <li>・街頭啓発は配布場所近隣の学校関係者(学校運営協議会・生徒・児童会)からの参加など、学校との連携を検討すべきである。</li> <li>・街頭啓発で配布するのも良いが、<u>学校で配布物を小学生などに配って、家に持ち帰ってもらうことで、親や家族の目にふれて効果的ではないか。</u></li> </ul>	B	31
		③ 小・中学校における同和教育の充実	教育指導室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科基底カリキュラム(改訂)の小・中学校への啓発を積極的に活用してほしい。</li> <li>・小・中学生に歴史的経緯を含めた同和教育を推進するときに、<u>先日西日本新聞に載っていたと思うのですが、経験者が写真入り実名で話してあったので、そういう方を講師として招いても良いのではと思いました。</u></li> <li>・社会科基底カリキュラムの活用と、小学6年生までの人権感覚の積み上げ、さらには中学校での「部落差別の現実」を含めた人権学習の展開を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科基底カリキュラム(改訂)の小・中学校への啓発を積極的に活用すべきである。</li> <li>・小・中学生に歴史的経緯を含めた同和教育を推進するときに、<u>経験豊富な講師を招いても良いのではと思いました。</u></li> <li>・社会科基底カリキュラムの活用と、小学6年生までの人権感覚の積み上げ、さらには中学校での「部落差別の現実」を含めた人権学習の展開を図るべきである。</li> </ul>	B	32
		④ 企業・事業所を対象とする研修会の開催・支援	人権男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>大野城市には、いわゆる同和地区がないので身近に感じない人が多い(年配者には同和という言葉を知らない人もいます。学校で習ってないので)ので周知させていくのが大切でしょう。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>同和問題を身近に感じない人も多いので、周知させていくべきである。</u></li> </ul>	B	33～34
	女性に関する問題	① 男女共同参画推進のための講演会・研修会の開催	人権男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町村開催の人気講座も参考にしてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町村開催の人気講座も参考にしてください。</li> </ul>	B	37
		② 子どもたちへの男女平等教育の実施	保育所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は「子どもたちへの男女平等教育の実施」となっているが、教育指導室の取り組みや実績が保護者対象の内容となっている。家庭科や特別活動、日常指導等での取り組みを構築してほしい。</li> <li>・保護者への啓発の他に、子どもたちに関心を高め理解を深めてもらう方法の一つとして、3年前に全国に男女共同参画カルタの標語を募集したものが<u>あります。</u>「男女共同参画カルタ」です。現在、市内小・中学校、公民館に配布されています。学校でのホームルームでの利用、家庭教育学級(保護者)で活用、学童保育やランドセルクラブで活用する等、いろいろな機会を利用して楽しく取り組みます。</li> <li>・【教育指導室】の記述に保護者表現があるが、<u>事業対象から考えると、内容等の検討がいるのではないか。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は「子どもたちへの男女平等教育の実施」となっているが、教育指導室の取り組みや実績が保護者対象の内容となっている。家庭科や特別活動、日常指導等での取り組みを構築すべきである。</li> <li>・保護者への啓発の他に、子どもたちに関心を高め理解を深めてもらう方法の一つとして、3年前に全国に男女共同参画カルタの標語を募集した<u>うえ作成した「男女共同参画カルタ」がある。</u>現在、市内小・中学校、公民館に配布されているので、<u>学校ホームルームでの利用、家庭教育学級(保護者)での活用、学童保育やランドセルクラブでの活用等、いろいろな機会を利用して楽しく活用すべきである。</u></li> <li>・【教育指導室】の実施内容及び担当課題に、<u>保護者への啓発に関する記述があるが、事業対象が子どもたちであることから考えると、記載場所等の検討が必要ではないか。</u></li> </ul>	B	38～39
			教育指導室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【教育指導室】は、30年度の実績と31年度の取り組み(学校だよりや行事等を通して保護者の啓発を図る)が同じようになっているので、<u>再考する必要がある。例えば、今年度の成人講座等で、このテーマを取り上げてもらう学校を増やす(働きかける)。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【教育指導室】は、30年度の実績と31年度の取り組み(学校だよりや行事等を通して保護者の啓発を図る)が同じようになっているので、<u>再考する必要がある。例えば、今年度の保護者対象の講座等で、男女平等に関するテーマを取り上げてもらう学校を増やす(働きかける)べきである。</u></li> </ul>	C	
	人権男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【教育指導室】は、30年度の実績と31年度の取り組み(学校だよりや行事等を通して保護者の啓発を図る)が同じようになっているので、<u>再考する必要がある。例えば、今年度の保護者対象の講座等で、男女平等に関するテーマを取り上げてもらう学校を増やす(働きかける)べきである。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【教育指導室】は、30年度の実績と31年度の取り組み(学校だよりや行事等を通して保護者の啓発を図る)が同じようになっているので、<u>再考する必要がある。例えば、今年度の保護者対象の講座等で、男女平等に関するテーマを取り上げてもらう学校を増やす(働きかける)べきである。</u></li> </ul>	B			

	分野	事業名	担当課	審議会委員提出意見	審議会意見案	30年度実績 についての 自己評価	ページ
分野別施策	女性に関する問題	③ 女性への暴力の根絶に向けた研修会の開催	人権男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性への暴力の根絶のため、「DV防止のための講座」の実施(毎年何度あってもよい)。「DV加害者の治療(仮題)」も実施され、DV被害者(女性)が減少し、女性の人権が守られる社会にしていきたい。</li> <li>・中学校デートDV防止研修が継続して実施されており、意識も浸透してきている。子の成長は徐々に早くなっているため、小学校(5、6年生)にもデートDV防止研修を実施してはどうか。</li> <li>・中学校デートDV研修について研修後に、生徒間の問題解決への課題・感想などの意見交換の設置を検討してほしい。(自身の感想や他者の意見聴取は、具体的な効用がある)</li> <li>・DVの定義と相談所の案内が有れば良いと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性への暴力の根絶のため、「DV防止のための講座」を実施すべきである(毎年何度あってもよい)。「DV加害者の治療(仮題)」等の講座の開催を通じて、DV加害者の治療・更生が進み、DV被害者(女性)が減少し、女性の人権が守られる社会にしていくべきである。</li> <li>・中学校デートDV防止研修が継続して実施されており、意識も浸透してきている。子の成長は徐々に早くなっているため、小学校(5、6年生)にもデートDV防止研修を実施してはどうか。</li> <li>・中学校デートDV研修後に、生徒間の問題解決への課題・感想などの意見交換の実施を検討すべきである。(自身の感想や他者の意見聴取は、具体的な効用がある)</li> <li>・中学校デートDV研修においては、DVの定義と相談所の案内等が有れば、より良いと思われる。</li> </ul>	C	40～41
		⑤ 地域における女性リーダーの育成	人権男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生の獲得に苦戦し、途中で受講を辞退する人も多いため、廃止も含めた検討が必要。</li> <li>・地域・自治区において、女性の活躍は各分野に必要です。リーダー育成に多くの講師を揃え、充実していますが、受講生が減ってきている状態。(案)講座の回数を5～6回位にしてみるとか(今、皆忙しい人が多いことも考慮されて)、受講後の実践活動もあり、アスカール主催の「アスカール共生フォーラム」に全員で取り組まれたら、実践力もつかれ、地域・組織の中で活躍することもできられます。人材が育成されます。</li> <li>・地域女性リーダー育成事業について受講生の中途減少への分析と検討が課題で、講座修了生の活動が役割分担的な要素に偏らない運営と理解を常に意識していくことへの注意が必要です。</li> <li>・女性リーダー育成という言葉に尻込みしてしまうという話はききます。そんな大それた事ではなく、地域の仕事とかに少しは係わってみたいという人が応募しやすい名称を考えるべきでしょう。又、年間を通じて受講が難しいのなら、次年度に再講できる道も設けてはいかがでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生の中途減少への分析と検討を行ったうえ、より受講しやすい講座のあり方や、講座修了後の活動のあり方などについて、根本的な見直しが必要である。</li> </ul>	C	44～45
	子どもに関する問題	② 児童虐待等防止のための取り組みの推進	こども健康課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードや啓発チラシの配布、研修会等の参加はできているが、肝心の支援体制が整備されていないことは問題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードや啓発チラシの配布、研修会等の参加はできているが、肝心の支援体制が整備されていないことは問題である。</li> </ul>	B	48～49
		③ いじめ等の防止のための取り組みの推進	教育指導室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校に不登校の児童生徒がいる現状へ対応するために、適応指導教室南教室の設置に向け調査研究をさらに進めてほしい。</li> <li>・適応指導教室南教室(仮)の設置について現在、適応指導教室は北地区にしかありません。南地区からは遠いので、是非南地区にも早く、教室の設置をお願い致します。</li> <li>・教育サポートセンターによる総合的対策について主権者教育として「子どもの人権」を子どもに周知・発信する方策の検討をしてほしい。(講話・座談会・ワークショップなど)また、自助グループ方策の導入を検討してほしい。(該当者・保護者)</li> <li>・サポートティーチャーや児童民生委員の自宅や地区公民館にかけこめるような取り組みが出来れば良いと思います。(理想ではありますが)。例えば何曜日の何時～何時迄「おしゃべりにおいで」とか、相談という前の日常察知として。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校に不登校の児童生徒がいる現状へ対応するために、適応指導教室南教室の設置に向け調査研究をさらに進めてほしい。</li> <li>・教育サポートセンターによる総合的対策について主権者教育として「子どもの人権」を子どもに周知・発信する方策を検討すべきである。(講話・座談会・ワークショップなど)また、自助グループ方策の導入を検討すべきである。(該当者・保護者)</li> <li>・サポートティーチャーや児童民生委員の自宅や地区公民館にかけこめるような取り組みをすべきである。(例えば何曜日の何時～何時迄「おしゃべりにおいで」とか、相談という前の日常察知として。)</li> </ul>	C	50

	分野	事業名	担当課	審議会委員提出意見	審議会意見案	30年度実績 についての 自己評価	ページ
分野別施策	子どもに関する問題	⑤ 保護者等を対象とした講演会や研修会の実施	こども未来課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の子ども親にとって家庭教育学級は、子育て、自分育ての最適な学習の場です。大野城市の15の小中学校において、学習会が活発な学校と、そうでない学校の格差があるとのこと。学習を受けるばかりでなく、組織運営も勉強になり、人生において役立つことばかりです。子の成長とともに親も成長できるチャンスです。教育振興課の皆様、15校揃って活発な学習会となりますよう、よろしく願い致します。</li> <li>・家庭教育学級の各校役員会での、情報交換・意見交換・事業感想について活発な交流を支援していくこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の子ども親にとって家庭教育学級は、子育て、自分育ての最適な学習の場である。大野城市の15の小中学校において、学習会が活発な学校と、そうでない学校の格差があるとのことであるが、学習を受けるばかりでなく、組織運営も勉強になり、人生において役立つことばかりである。子の成長とともに親も成長できるチャンスである。15校揃って活発な学習会となるように実施していくべきである。</li> <li>・家庭教育学級の各校役員会での、情報交換・意見交換・事業感想について活発な交流を支援していくべきである。</li> </ul>	B	52～55
			教育振興課			C、B	
			教育指導室			B	
			こども健康課			A	
			人権男女共同参画課			B	
	高齢者に関する問題	① 市民を対象とした講演会・研修会等の開催	長寿支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期ひきこもりによる「8050問題」の実態把握、問題解決に向けた講座の開催を希望。</li> <li>・年々、高齢者が増える現状、高齢者を取りまく様々な問題(認知症、介護、健康、虐待、交通事故(高齢者による運転)、詐欺(振込))等々に対する市民の理解を深めるため、高齢者の人権について、本人は勿論のこと、高齢者予備軍の方々、次代を担う若い方々にも現状を理解して見守って頂き、安心して暮らせる地域社会であってほしいものです。高齢者の人権に関する講座実施、期待しております。</li> <li>・各種講座と調整し、新年度での開催を企画してほしい。</li> <li>・「高齢者の人権」は、64才以下の人の課題であることを再度確認することと、これまでの世の中を支えてくれたことを、もっとアピールしていく必要があること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期ひきこもりによる「8050問題」の実態把握、問題解決に向けた講座を開催すべきである。</li> <li>・年々、高齢者が増える現状、高齢者を取りまく様々な問題(認知症、介護、健康、虐待、交通事故(高齢者による運転)、詐欺(振込))等々に対する市民の理解を深めるため、高齢者の人権について、本人は勿論のこと、高齢者予備軍の方々、次代を担う若い方々にも現状を理解して高齢者を見守り、安心して暮らせる地域社会であるべきである。高齢者の人権に関する講座の実施が必要である。</li> <li>・各種講座と調整し、新年度での高齢者の人権に関する講座の開催を企画すべきである。</li> <li>・「高齢者の人権」は、64才以下の人々にとって、より重い課題であることを再度確認することと、高齢者はこれまでの世の中を支えてくれたことを、もっとアピールしていく必要がある。</li> </ul>	B	56～57
			人権男女共同参画課			D	
	障がい者に関する問題	① 市民を対象とした講演会・研修会等の開催	福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年開催パラリンピックの前年度として、より一層の理解のため、積極的な啓発を推進してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年開催の東京パラリンピックの前年度として、より一層の理解のため、積極的な啓発を推進すべきである。</li> </ul>	D	64～65
			こども健康課			A	
			人権男女共同参画課			B	
		② 障がいへの理解を深めるための教育の推進	教育指導室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「30年度取り組み」欄には、「小・中学校と特別支援学校との交流」の記載があるが、「30年度の実績」欄では、それに対応する事項がないようだが差し支えはないか。また、同欄の課題では、「内容や方法の充実が必要」とされているが、「31年度の取り組み」欄の記述にはそれに対応する記載はないが差し支えないか。</li> <li>・2020年開催パラリンピックの前年度として、より一層の理解のため、成長過程に応じた積極的な啓発を推進してほしい。</li> <li>・特別支援学級と普通学級との交流活動は、感心します。今後も続けて下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「30年度取り組み」欄には、「小・中学校と特別支援学校との交流」の記載があるが、「30年度の実績」欄では、それに対応する事項がないようだが差し支えはないか。また、同欄の課題では、「内容や方法の充実が必要」とされているが、「31年度の取り組み」欄の記述にはそれに対応する記載はないが差し支えないか。</li> <li>・2020年開催の東京パラリンピックの前年度として、より一層の理解のため、成長過程に応じた積極的な啓発を推進すべきである。</li> <li>・特別支援学級と普通学級との交流活動は、今後も継続すべきである。</li> </ul>	B	66
			福祉課			<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジアートの来場者が年々増加しているのはいいことだと思うが、そのアートを出品する側になりたい人が学べる場所が欲しい。まどかぴあ生涯学習センターで、障がい者に向けた講座を(短期～1年位でも)開いてもらいたいという声を聞きます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジアートの来場者が年々増加しているのはいいことであるが、そのアートを出品する側になりたい人が学べる場所が必要である(まどかぴあ生涯学習センターで、障がい者に向けた講座を(短期～1年位でも)開いてもらいたいという声が聞かれる)。</li> </ul>



	分野	事業名	担当課	審議会委員提出意見	審議会意見案	30年度実績 についての 自己評価	ページ
分野別施策	障がい者に関する問題	④ 障がい者に対する差別解消のための取り組みの推進	福祉課	・「30年度実績の実施内容」欄に、「合理的配慮の提供を実施している」とあり、「30年度実績についての評価」欄の理由にも同様の記載があるが、具体的にはどのような事象か。その記載はしないでしょうか。	・「30年度実績の実施内容」欄に、「合理的配慮の提供を実施している」とあり、「30年度実績についての評価」欄の理由にも同様の記載があるが、具体的にはどのような事象か。その記載はしないでしょうか。	B	69
	日本に居住する外国人に関する問題	① 市民を対象とした国際理解を深める事業の開催	ふるさとにぎわい課	・スピーチコンテスト・国際交流協会と連携した各種事業の実施は、非常に良いと思います。又、各地域の祭りに呼び日本文化を知らしめる事も大事だと考えます。(各国の文化に触れる事は、大事だと思います。) ・近年、スーパーマーケットやコンビニエンスストアで、日本語以外の言語を耳にする事が多くなったので、交流事業のポスターやチラシを店に掲示する等して、参加者募集を行うのもいいと思う。	・スピーチコンテスト・国際交流協会と連携した各種事業の実施は、非常に良いと思われる。又、各地域の祭りに呼び日本文化を知らしめる事も大事である。(各国の文化に触れる事は、大事である。) ・近年、スーパーマーケットやコンビニエンスストアで、日本語以外の言語を耳にする事が多くなっているため、交流事業のポスターやチラシを店に掲示する等して、参加者募集を行うべきである。	B	71～72
			人権男女共同参画課	・これまで、外国に対して、人権侵害を行った加害の歴史についても、学習の機会をもつ必要があるのではと思います。	・過去に、日本が外国に対して、人権侵害を行った加害の歴史についても、学習の機会をもつ必要がある。	C	
		② 小・中学校における国際教育と英語教育の充実	教育指導室	・中学校での外国語の研究授業及び研修の実施。(内容の検討の要がある。例:災害時の英語対応など時流にあったテーマの設定など)	・中学校での外国語の研究授業及び研修を実施すべきである。(内容の検討の要がある。例:災害時の英語対応など時流にあったテーマの設定など)	C	73
	インターネットによる人権侵害に関する問題	② 学校におけるインターネット教育の推進	教育指導室	・近年、SNS等でいじめ・誹謗中傷が多いと聞きますので、子ども時代から正しいインターネット使用を研修を通じて実施する事は、重要だと思います。	・近年、SNS等でいじめ・誹謗中傷が多いと聞くので、子ども時代から正しいインターネット使用に関する研修を通じて学ぶ事は、重要である。	B	79
その他の人権問題	① 市民を対象とした講演会・研修会等の開催	人権男女共同参画課	・社会問題として広く理解してほしいテーマについて設定し、事前の効果的な開催周知方策の検討。	・社会問題として広く理解してほしいテーマの講座を開催すべきである。また、事前の効果的な開催周知方策を検討すべきである。	C	81	
		全てに共通する事項	・「評価」欄の記載振りが統一されていないように思われる。例えば、予定通りに実施できたことのみをもって「B」としていたり、アンケートの意見・感想を引用して評価を行っている事項もあります。可能であれば、参加者数や感想等をもって評価の方が望ましいと思われれます。また、「評価の指針」(P29等)では、「成果の度合い」を評価するとされていますが、「成果」の検証(方法)はどのように考えておられるのでしょうか。 ・性自認や性的指向(LGBTは一部P8に記載があり)の問題に対する項目を設ける必要はないでしょうか。過去に、市民アンケートを実施しているのであれば、その内容と今後の取組方針を掲げることは可能ではないかと考えます。	・「評価」欄の記載振りが統一されていないように思われる。例えば、予定通りに実施できたことのみをもって「B」としていたり、アンケートの意見・感想を引用して評価を行っている事項もある。可能であれば、参加者数や感想等をもって評価の方が望ましいと思われれる。また、「評価の指針」(P2、P16、P28)では、「成果の度合い」を評価するとされているが、「成果」の検証(方法)はどのように考えているのか。 ・性自認や性的指向(LGBTは一部P8に記載があり)の問題に対する項目を設ける必要はないか。過去に、市民アンケートを実施しているのであれば、その内容と今後の取組方針を掲げることは可能ではないか。			